

# 魅力があるのに、どうして？

石原寛子

オリエンテーリングに関しては全くのシロウト。でも愛知世界選手権ではフルタイムの運営者。そんな石原さんから見たオリエンテーリングの問題って・・・

## オリエンテーリング これは只者ではない

初めて「2005 世界オリエンテーリング選手権大会」のお話をお聞きしたのは、開催までもう半年をきった2005年2月頃でした。私が勤めていたのは、イベントには敏感な印刷屋です。営業区域は愛知県の三河地方、世界選手権の開催地と同じではありませんか。しかし私は「世界選手権」たるビッグなイベントの存在を、お話を伺うまで、全く知らなかったのです。

オリエンテーリングといえば大学の指導教官のイメージしかありません。ぴちっとしたウエアを着こんで道なき道をコンパスと地図を持って駆け巡る、とてもたくましいスポーツ。それが私の知る「オリエンテーリング」でした。

そんなこんなでオリエンテーリングを全く知らない自分が WOC2005 実行委員会のお手伝いをさせて頂くことになりました。実行委員会の方々にはほとんどの方がフルタイムワーカー、一体どこから運営準備の時間をひねり出していたのか。連絡には e-mail が使用されていましたが、私の所に届くだけでもその数毎日約 100 通。しかも送信時間が24時間途切れることがないと言っても過言ではありません。ある1さんなどは、夜中の2時にメールが来て、「あ、これは夜遅くまで起きていたんだな」と分かりますが、4時に来たときには、「寝る前なのかな、早起きしたのかな？」とずいぶん悩みました。

世界選手権のために文字通り寝食も忘れてその運営をされている皆さん、とりわけ M さんや S さんが、私も大好きで、少しでも楽をさせてあげたい。そう思って、運営にがんばってきました。ここまで沢山の方を夢中にさせるオリエンテーリング、これは只者ではないはず。

## 世界選手権で感じた魅力

そして大会突入。本部が置かれた作手村の村人曰く「盆と正月がいっぺんに来た」ような大騒ぎだったようです。競技を間近で見ただけは「凄い勢いで走るんだねえ」と興奮気味にお話してくださいました。私を含め、初めてオリエンテーリングを観戦した人にとっても十分楽しめるスポーツだということが判明しました。私が一番興奮したのはスプリント競技です。自分がいたテントの近くを選手が駆け抜けるのは大迫力でした。コースを選ぶのがオリエンテーリングの醍醐味だと言いましたが、テントの前を通過する選手、後ろを通過する選手、かと思えば向こうの藪を通過する選手と様々で、まさにオリエンテーリングの一幕を垣間見た気がしました。地図を確かめて一瞬スピードが落ちた間に、他の選手が抜き去っていく場面もありました。地元の方への PR チラシに書いてあった「秒単位で争う」とはこれのことだったのか！と今更ながら納得したり...。大学教官のイメージだったオリエンティアのイメージも、各国の選手を見て一新です。特に女子選手は皆さんとてもかわいらしい。

私は、期間中ほとんどイベントセンターにいました。夜中まで準備のお手伝いをし、そのままそこに泊り込んだり...。大学時代の合宿を思い出しました。選手の方々も、世界選手権ということで、もっとびりびりしているのかと思いましたが、「水浴びがしたい」とか「観光にいきいたい」とか、「サッカーボール買ってきて」など競技に関する事よりも他のお問い合わせでイベントセンタは大忙しでした。みんな意外とリラックスしているんですね。そんなところも、オリエンテーリングの魅力なのかもしれませんね。

## 魅力があるのにどうして？

大会後、友人に世界選手権の話をしました。彼の実家は岡崎市、大会会場のお隣です。しかし、やはり全く知られていませんでした。「話だけでも面白そうなのに、何でもっと宣伝しないの？」と素朴な疑問....。

競技に携わる人を夢中にさせ、観客を楽しませ、見たことのない人の興味を惹けるスポーツであるオリエンテ

リング。でも、なかなか普及していない、マスメディアにも載ってこない。広報担当の方も、マスコミ向け情報発信には随分と動いていらしたのを見ています。それでも世間一般には露出してこない。一体何が素人とオリエンティアの間に立ちはだかっているのでしょうか。

素人から見てこれってオリエンテーリング普及のネックなんじゃ...と思ったことは、オリエンテーリングがオリエンテーリングとして認識されていないという事です。一般の方では小学校などで行うウォークラリー=オリエンテーリングと誤っていらっしゃる方がほとんどです。地元のボランティアの方へ説明をさせて頂いたときに一番多かったのは「走るの？スポーツなの？」という反応でした。一般の方にオリエンテーリングを知って頂くためにも、オリエンテーリング普及の近道は、オリエンテーリングを題材とした大ヒット漫画が発売されることかもしれません....。

(石原寛子)

### 【筆者紹介】

筆者は、大学時代の指導教官がオリエンテーリング愛好者であったことからオリエンテーリングは知っていたものの、まったくの素人。WOC 唯一のフルタイムアシスタントとして、4月から、WOCの事務作業を手伝い、主としてその舞台裏をじっくりと「素人」の目から観察。

